

## ☆ 119番通報時のポイント ☆

### ☆ まずは、通報者あなたの安全を確保してください。

災害現場では二次災害が発生する恐れがあります。必ず自身の安全を第一に行動してください。

火災で初期消火に失敗した場合などは早急に屋外に避難し、交通事故の場合は次の事故に巻き込まれることのないように安全な場所から通報してください。

### ☆ 通報はあわてずに、落ち着いて通信員の質問に答えてください。

早口すぎたり、「早く来て！早く来て！」と連呼したりすると、かえって場所の特定に時間がかかり、出勤が遅れてしまう場合があります。大切なのは確実な情報を冷静に伝えることです。

こんな時こそ、落ち着いてゆっくりと必要な情報をできるだけ伝えるようにしましょう。

### ☆ 正確な住所や、目標となる建物を伝えてください。

正確な場所が特定できれば、その時点で消防車等を現場に向かわせています。

「〇〇町×番△号 〇〇(お名前)です。」のように住所を番地まで正確に伝えてください。

交通事故など屋外の場合や住所が分からない場合は「〇〇駅の前」や「××交差点」など周りに見える目標物を伝えてください。

目標物には…

- ・公共施設(学校、バス停、駅など)
- ・店舗(コンビニ、飲食店、銀行など)
- ・交差点(信号機の交差点標識を確認してください)

### ☆ 火災？救急？救助？何が起きているのかを伝えてください。

通報内容から判断し、出勤させる車両を決めます。その為、今何が起きているのかを正確に伝えることが大切です。「家が燃えている。」「子どもが食べ物を喉に詰ませた」「車が横転して、中に人が閉じ込められている。」など、消防車が必要なのか、救急車が必要なのか具体的に情報を伝えてください。